

総合評価方式の評価について

総合評価方式を評価する視点

総合評価方式は、**価格**だけでなく、**技術力**もある会社と契約を結ぶこと、そして、**良い工事目的物**を完成させることを目的としている。

このことから、**入札段階**と**竣工段階**で評価する。

○ 試行件数

年度	件数
H 1 8	4 件
H 1 9	1 0 件
H 2 0	1 3 7 件
H 2 1	1 1 5 件

266

入札段階の評価

・落札した会社は、**技術点・価格点共に上位**である。
年々その傾向が強くなっており、技術点1位の割合も高くなっている。

・技術点・価格点共に1位でなくても、**総合的に評価され、落札**している。

○ 総合評価方式の入札結果

年度(入札)	H18・19	H20	H21
技術点1位	14% (2件)	49% (67件)	67% (77件)
価格点1位	50% (7件)	46% (63件)	56% (64件)
技術点・価格点共に1位	0% (0件)	14% (19件)	34% (39件)
技術点・価格点共に1位以外	36% (5件)	18% (26件)	11% (13件)
平均技術評価順位	3.9位	2.6位	1.8位
平均価格評価順位	2.3位	3.1位	2.6位
平均入札参加者数	17.8社	18.9社	18.0社

14

137

115

竣工段階の評価

検査結果から、全体的に、工事成績の平均点は、総合評価方式による工事で高い点数になっており、**竣工段階でも、よい成績を残している。**

○ 工事成績(竣工検査)の比較

入札方式の種別		工事成績の平均点		
		H 1 9	H 2 0	H 2 1
一般競争入札 (総合評価方式を除く)		74.3	74.0	75.6
総合評価方式	全体	77.4	75.0 (75.0)	76.1
	簡易型	77.0	73.0 (76.0)	79.4
	特別簡易型	80.0	75.0	75.8

※H18年度は竣工なし

※：()内は特異値を除く

ま と め

以上により**総合評価方式**は、

- ・「**価格と技術力を持ち合わせた会社との契約**」
- ・「**質の高い工事目的物の完成**」

という目的に対して、**効果**が出ている。

○ 平成22年度試行にあたっての改善事項

課 題	改 善 事 項
技術評価の重視	・技術評価点と価格評価点の配分の見直し ・工事施工能力等の評価重視
事務効率の改善	・自己採点方式の試行 ・電子申請方式の試行
評価項目の追加	・地域貢献度の評価項目(選択項目)の追加